

第65回日本臨床細胞学会総会(春期大会)

【2日目:2024年6月8日(土)】

| 建物 | 階 | 会場名 | 使用用途 | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 16:00 | 17:00 | 18:00 |
|---------|-----------|------------|--------------------------------------|---|--------------------------------|-----------------------------|---|-------------------------------|--|--------------------------------------|--|---------------------------|-------|
| 大阪国際会議場 | 5 | 大ホール 第1会場 | | ワークショップ1 「肺癌・扁平上皮癌と鑑別を要する肺の神経内分泌腫瘍」 | | | 特別講演 「Advances in Molecular Cytopathology」 | | シトラス研究報告 | | 医療安全セミナー | | 総会 |
| | | 小ホール 第2会場 | | スキルアップ企画1 「キムザ染色の有用性(尿状検体)」 | スキルアップ企画2 「キムザ染色の有用性(尿刺検体)」 | スキルアップ企画3 「消化器(EUS-FNA)」 | スキルアップ企画4 「呼吸器(細胞判定に必要な解剖学的知識)」 | スキルアップ企画5 「呼吸器(高分化腺癌)」 | スキルアップ企画6 「脳神経」 | スキルアップ企画7 「ポイントつづめば判定可能な低異型度リンパ腫」 | スキルアップ企画8 「泌尿器(上部尿路)1」 | スキルアップ企画9 「泌尿器(上部尿路)2」 | |
| | 1003 | 第3会場 | 教育講演1 「IAC Yokohama system 運用の現状」 | シンポジウム1 「針生検時代の乳腺細胞診に求められるもの -施設特性に応じた理想の運用と注意点は何か? -」 | | | ランチョンセミナー ホロジックジャパン株式会社 | | シンポジウム7 「胆汁細胞診における新たな診断区分の確立に向けた試み」 | | | | |
| | 1001・1002 | 第4会場 | 教育講演2 「子宮内膜細胞診の将来展望」 | シンポジウム2 「記述式報告様式のさらなる普及に向けて」 | | | ランチョンセミナー ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 | | シンポジウム8 「呼吸器細胞診新報告様式の運用の問題点」 | | | | |
| | 1009 | 第5会場 | 教育講演3 「甲状腺癌取り扱い規約と細胞診」 | シンポジウム3 「希少がん診断における病理・細胞診」 | | | | | シンポジウム9 「めざせ!甲状腺細胞診マスター」 | | | | |
| | 1008 | 第6会場 | 要望講演1 「リンパ腫WHO分類第5版」 | 教育講演8 「リウマチ関連リンパ増殖性疾患」 | ワークショップ2 「形態学の学びのあり方を考える」 | | | ランチョンセミナー MSD株式会社 | | 教育講演10 「細胞診に役立つAI技術の現状と今後の展望」 | ワークショップ4 「核酸品質の観点からみた細胞診検体取扱い」 | | |
| | 1004・1005 | 第7会場 | 教育講演4 「臨床と連携した迅速体腔洗浄細胞診」 | 教育講演9 「バイオマーカー探索としての体腔液細胞診の現状」 | 要望講演2 「子宮内膜腫瘍化機序の新展開」 | 班研究報告 | | ランチョンセミナー アジレント・テクノロジー株式会社 | | 国際スライドカンファレンス | | | |
| | 1006・1007 | 第8会場 | 教育講演5 「泌尿器領域の分子標的薬時代における組織診と細胞診」 | シンポジウム4 「誤診しやすい尿細胞診」 | | | ランチョンセミナー 第一三共株式会社 | | 子宮の日全国アクション報告会 | | | | |
| | 12 | 特別会議場 第9会場 | 教育講演6 「子宮頸部HSIL 治療後の再発、並びに腔診について」 | シンポジウム5 「子宮頸部癌の最前線」 | | | ランチョンセミナー 松浪硝子工業株式会社 | | ワークショップ3 「子宮頸部HPV関連性腫瘍と細胞診」 | | 要望講演3 「臨床医が唾液腺細胞診に望むこと-ミラノシステムとクラス分類の比較を通して-」 | | |
| | | 1202 | 第10会場 | 教育講演7 「EUS-FNAにおける細胞診断のキーポイントとピットフォール」 | シンポジウム6 「肺癌における腹腔洗浄細胞診の標準化」 | | | | | シンポジウム10 「細胞診の仕事はどのように変わっていくのか」 | | | |